

3年生は11月も近づき、入試が近づいてきたことを実感している人も多いのではないのでしょうか。すでに大学入試センター試験の出願も済み、入試関係の事務手続きも始まります。何分慣れないことなので、何かと時間と手間がかかると思われます。慌ただしい時期になってきますが、何よりも大切なことは、期間・時間に余裕を持って行動することです。まさしく「備えあれば憂(うれ)いなし」です。1・2年生の皆さんもぜひ肝に銘じておいてください。

公募制推薦入試を考える

3年生の中には、公募制推薦入試の出願を考えている人もいますでしょう。そこで、公募制推薦入試を考えるヒントを示したいと思います。

- ①国公立大は何と言っても受験機会が少ないので、評定平均などの条件を満たすのなら積極的に利用するのも一手です。
- ②私立大は第一志望校なら、受験機会を増やすため、受験を考えてもいいのではないのでしょうか。
ただし…
 - ・関関同立大・甲南大は基本的に公募制推薦入試という制度はありません。
※関学(理工)・関大(理系)・甲南大(マネジメント学部)は募集人員が少ないがあります。
 - ・武庫川女子大・京都産業大・龍谷大・大阪経済大は、公募制推薦入試合格者の全入試合格者に占める割合が「20%」と低くなっています。
つまり、これらの大学は、あくまでも一般入試が中心であるということです。
※一般前期入試(2月)合格者の、全入試合格者に占める割合が「50%以上」
以上のような大学を第一志望とする人は、一般入試を見すえて学習に励むことを忘れてはいけません。
- ③今年さらに人気が見込まれる看護系大学・専門学校は浪人を防ぐためにも、推薦入試を積極的に利用することが重要です。

しかし、3年生の皆さん、あせる必要はありません。しっかりと地に足をつけて考えることが大切です。なぜなら、勝負はあくまでも一般入試だからです。

公募制推薦入試によくある「面接」について

- ①面接はブレザーで
西高の制服はきちんと着こなせば、色合いといい、非常に美しいです。
面接官に好印象を与えること間違いなしです!
- ②挨拶はさわやかに
- ③受け答えは、「めりはり」をつけて、「簡潔」に、「具体的」に

公募制推薦入試によくある「志望理由などの作文」について

- ①何事も具体的に書く
- ②字は丁寧に書く(鉛筆で下書きをしたうえで黒のボールペンで)
- ③担任の先生などにも見てもらうことも
- ④コピーをとっておくことも忘れずに

出願に際しては… (公募制推薦入試に限らず一般入試も)

「高校に成績を通知する」にマークをすること(マーク欄がある場合)
受験生には知らされないような貴重な情報(点数など)が、高校には送付されてきます。今後の受験戦略を立てる重要な目安になりますので、高校に成績を通知してもらうようにしましょう。

3年生になってからでは遅い! 何事も日々の積み重ね!

服装のこと、挨拶のこと…。以上を書いてきたことは、普段からきちんと心がけていれば問題のないことなのです。また、作文・小論文についても同様です。普段から現代文などの授業にきちんと取り組み、本や新聞を読んでいけば、問題のないことではないのでしょうか。つまりは、1・2年生の今のうちから、1年後2年後を見すえて毎日の学校生活を送ることが大切なのです。

1・2年生へ 特に2年生は、3年生0学期を迎えようとしています

3年生は今、進路実現に向け、もがき苦しんでいる人も多いはずですが。様々な進路を選択していく3年生ですが、現在の勉強などに満足している人はいないはずですが。何らかのかたちで「1・2年生の時にきちんと勉強しておけばよかった」などという後悔があるはずですが。その後悔を減らすためには、上記にもあるように、「日々の学習」(学校での授業+家庭学習)をしっかりと行うことなのです。

■受験勉強のスタート時期(%)

	全国
2年生の1学期以前(夏休みより前)	4.5
2年生の夏休み	6.0
2年生の2学期	31.2
2年生の冬休み	20.7
2年生の3学期	16.9
3年生になってから	17.2
受験勉強はしない	3.1

約8割の人が、受験勉強を2年生のうちにスタートすると答えています。
特に「2年生の2学期」が一番多くなっています。3年生になってからではなく、受験勉強を早い時期にスタートさせ、合格へのステップをのぼり始めましょう。どれだけ早く受験と向き合うことができるかが、大学合格の大きなカギとなります。

データは、2011年度スタディーサポート2年生第2回全国集計結果より。